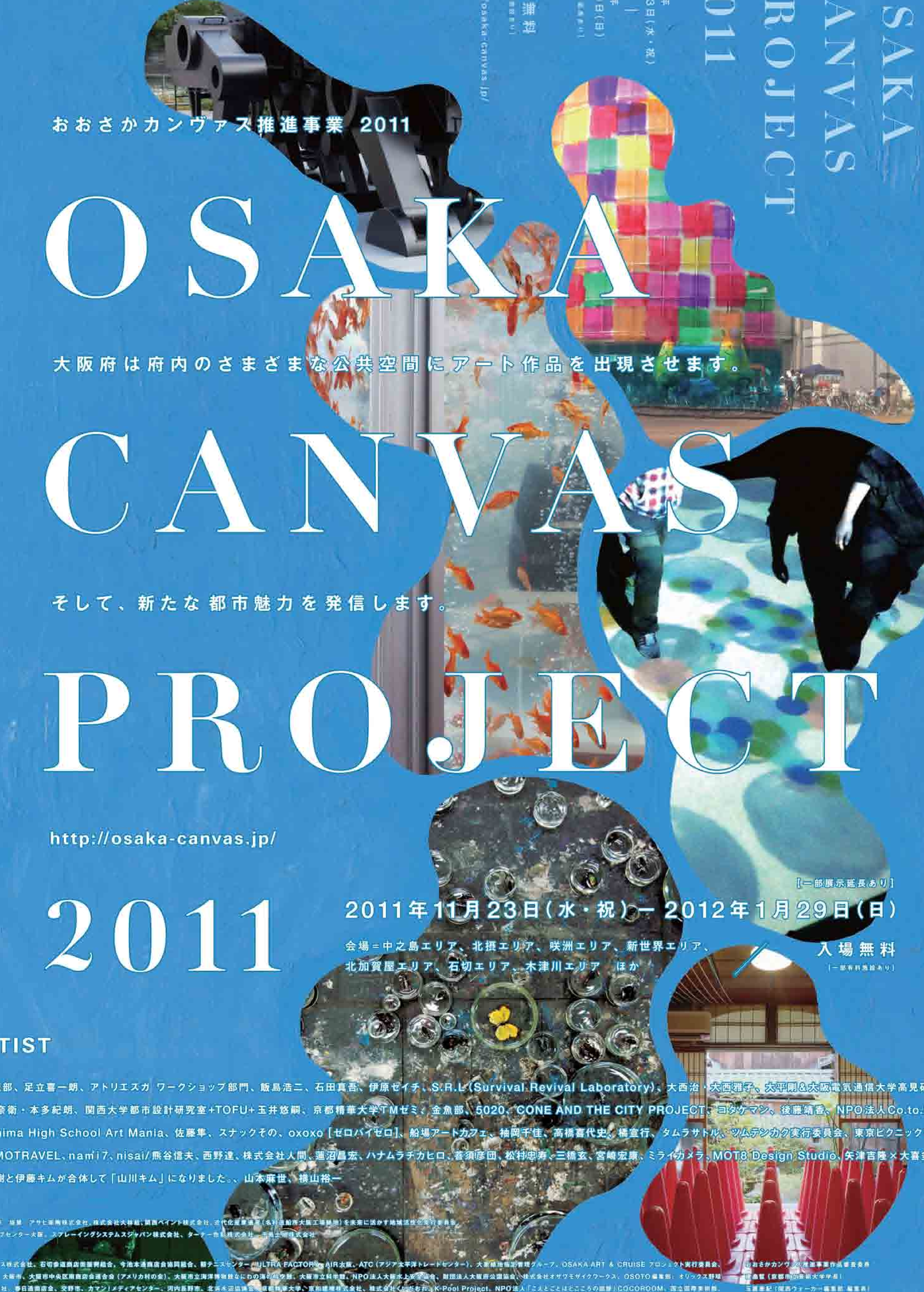
おおさかカンヴァス推進事業 2011
OSAKA
CANVAS
PROJECT
2011
2011年
11月23日（水・祝）
｜
2012年
1月29日（日）
［一部展示延長あり］
入場無料
［一部有料施設あり］
http://osaka-canvas.jp/



おおさかカンヴァス推進事業 2011

OSAKA CANVAS PROJECT

大阪府は府内のさまざまな公共空間にアート作品を出現させます。

そして、新たな都市魅力を発信します。

http://osaka-canvas.jp/

2011

［一部展示延長あり］
2011年11月23日（水・祝）ー 2012年1月29日（日）

会場＝中之島エリア、北摂エリア、咲洲エリア、新世界エリア、
北加賀屋エリア、石切エリア、木津川エリア　ほか

入場無料
［一部有料施設あり］

ARTIST

R+気流部、足立喜一朗、アトリエスカ ワークショップ部門、飯島浩二、石田真吾、伊原セイチ、S.R.L（Survival Revival Laboratory）、大西治・大西雅子、大平剛＆大阪電気通信大学高見研究室、加藤可奈衛・本多紀朗、関西大学都市設計研究室+TOFU+玉井悠嗣、京都精華大学TMゼミ、金魚部、5020、CONE AND THE CITY PROJECT、コタケマン、後藤靖香、NPO法人Co.to.hana、Sakishima High School Art Mania、佐藤隼、スナックその、oxoxo［ゼロバイゼロ］、船場アートカフェ、袖岡千佳、高橋喜代史、橘宣行、タムラサトル、ツムテンカク実行委員会、東京ピクニッククラブ、TOMIMOTRAVEL、nami7、nisai/熊谷信夫、西野達、株式会社人間、蓮沼昌宏、ハナムラチカヒロ、菩須彦団、松村忠寿、三橋玄、宮崎宏康、ミライカメラ、MOT8 Design Studio、矢津吉隆×大喜多智裕、山川冬樹と伊藤キムが合体して「山川キム」になりました。、山本麻世、横山裕一

主催　大阪府　協賛　アサヒ衛陶株式会社、株式会社大林組、関西ペイント株式会社、近代化産業遺産（名村造船所大阪工場跡地）を未来に活かす地域活性化実行委員会、クリエイティブセンター大阪、スプレーイングシステムスジャパン株式会社、ターナー色彩株式会社、[illegible]株式会社

協力　アキレス株式会社、石切参道商店街振興組合、今池本通商店会協同組合、新テニスセンター、ULTRA FACTORY、AIR大阪、ATC（アジア太平洋トレードセンター）、大泉緑地指定管理グループ、OSAKA ART & CRUISE プロジェクト実行委員会、大阪狭山市、大阪市、大阪市中央区南商店会連合会（アメリカ村の会）、大阪市立海洋博物館なにわの海の時空館、大阪市立科学館、NPO法人大阪水上安全協会、財団法人大阪府公園協会、株式会社オザワモザイクワークス、OSOTO編集部、オリックス野球クラブ株式会社、春日通商店会、交野市、カマン！メディアセンター、河内長野市、北浜水辺協議会、京都精華大学、京阪建物株式会社、株式会社[illegible]、K-Pool Project、NPO法人「こえとことばとこころの部屋」COCOROOM、国立国際美術館、コトブキ工芸株式会社、株式会社ショウワ、新世界市場、新世界串かつ振興会、新世界敬老会、新世界町会連合会、新世界ブレーカープロジェクト実行委員会、有限会社杉山プラスチック工業、株式会社大洋工芸、宝塚造形有限会社、蓄光塗料・大平製作所、株式会社千早銘木、通天閣観光株式会社、通天閣本通商店街、[illegible]観光株式会社、都市公園久宝寺緑地指定管理共同体、都市公園住之江公園指定管理共同体、都市公園住吉公園指定管理共同体、飛田本通商店街振興組合（動物園前一番街）、中之島バンクス、財団法人中村晋也美術館、南陽通商店街振興組合（ジャンジャン横丁）、寝屋川市、萩之茶屋本通商店街振興組合、服部緑地指定管理グループ、東大阪[illegible]協同組合、フジカット有限会社、[illegible]連合振興町会、御堂筋まちづくりネットワーク、Men's shop ワシントン、有限会社やまと錦魚園（郡山金魚資料館）、山本金属工業有限会社、緑の里、ゆずともみじの里・みのおプロジェクト会議、株式会社ユタカメイク、Roots Factory、株式会社ロッコン

おおさかカンヴァス推進事業作品審査委員
建畠晢（京都市立芸術大学学長）
玉置泰紀（関西ウォーカー編集部 編集長）
ヤノベケンジ（京都造形芸術大学教授、現代美術作家）
忽那裕樹（ランドスケープ・デザイナー）
塩山諒（NPO法人スマイルスタイル代表）

大阪府

問い合わせ先　大阪府 府民文化部 都市魅力創造局 文化課　〒559-8555　[illegible]

おおさかカンヴァス推進事業について

第1弾 10月22日▶10月30日
第2弾 11月23日▶2012年1月29日

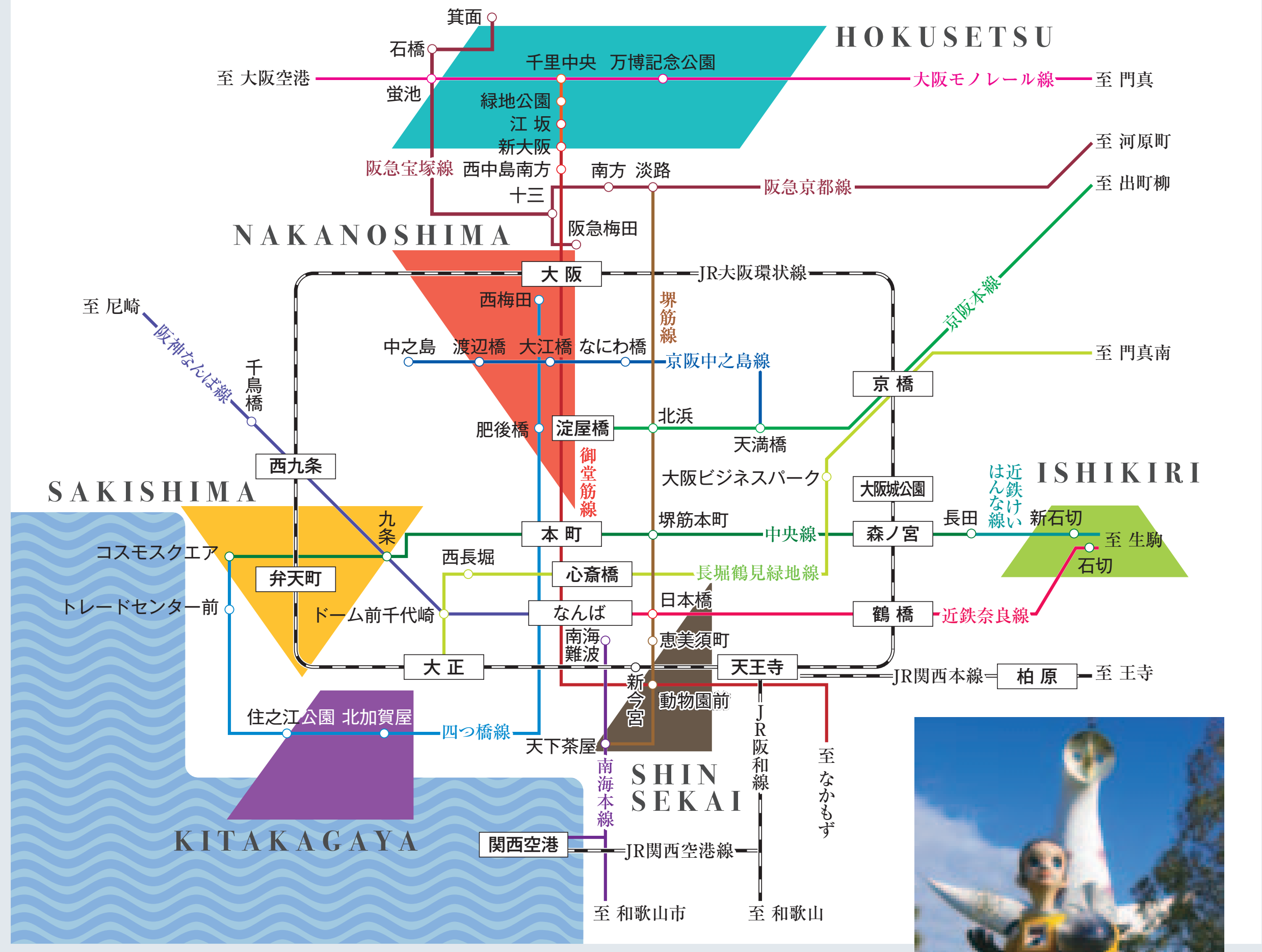
※展示作品は予告なく変更・中止になる場合がございます。
※入場は無料です。一部施設入場料の必要な会場がございます。
※展示は無休です。※作品により、展示期間・時間が異なります。

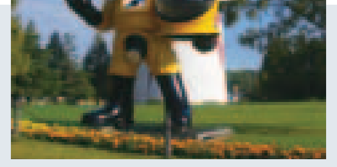
「おおさかカンヴァス推進事業」は、大阪のまち全体をアーティストの発表の場として「カンヴァス」に見立て、大阪の新たな都市魅力を創造・発信しようとするものです。公共空間とアートのコラボレーションによって、都市や地域の新たな魅力を発見、発信することと、アーティストが、アイデアと想いを実現できる機会を得ることを目的に、平成22年度から始まりました。

平成22年度は23作品が公募によって選ばれ、平成21年度に始まった木津川ウォールペインティングも含め、大阪府内の様々な公共空間で発表・展示されました（一部の作品は引き続き展示しています）。

今年度は43作品が選考され、中之島、北摂、咲洲・コスモスクエア地区等のエリアを中心に、作品が発表、展示されます。

詳細はホームページをご覧ください　http://osaka-canvas.jp/



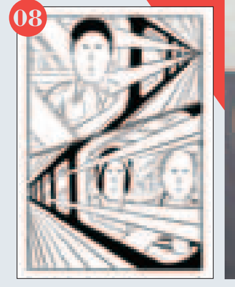


「Sun Child」〈特別展示〉
▶詳細は当ガイドブックの、咲洲エリアをご覧ください。

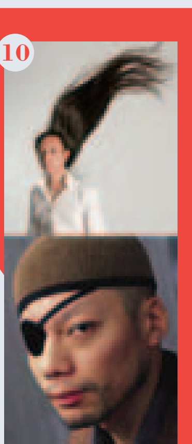
大阪の突破力! ヤノベケンジ
/おおさかカンヴァスペインティングパートナー

このアートプロジェクト事業は世界でもまれなものです。理解しがたいとされる現代アートを、行政が主催してプロ、アマ問わず皆が参加できるものにしている。国際マラソンのアート版を世界初でするようなもの。全国から集まった作品も大阪らしいユーモアと鋭さに溢れるインパクト大の、今、ここでしか観れない名作ばかりです。この機会を逃さず大阪を駆け回って全部目撃すべし!

43



08



10

中之島エリア

□□□□□□
□□ □□ □

堂島川と土佐堀川に挟まれた中洲に都市のインフラが集結するエリア。大正モダンの時代より常に最前線で大阪の都市としてのライフスタイルと魅力を発信しつづけている。

08展示

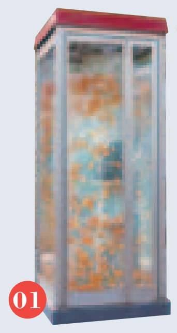
「トラベル」 横山裕一
▶展示会場：なにわ橋駅、中之島バンクス
▶展示期間：10月22日【土】～12月25日【日】
中之島バンクスのみ 12:00～19:00（月曜休館）

なにわ橋駅の外壁に代表作『トラベル』の一部を拡大して屋外展示。中之島バンクスの会場では原画も展示する。漫画、アート、デザインといった領域を横断する作品を多様に伝える取り組み。現在開催中の「鉄道芸術祭／西野トラベラーズ」（アートエリアB1主催）とのコラボイベント。

10パフォーマンス

「山川冬樹と伊藤キムが合体して『山川キム』になりました。ライブパフォーマンス」
山川冬樹と伊藤キムが合体して「山川キム」になりました。
▶展示会場：なにわ橋駅地下駐輪場（受付：アートエリアB1）
▶展示期間：12月10日【土】19:30開演（予定）
参加費無料 要事前申込 定員120名 申込詳細はWEBへ

ホーメイ歌手・アーティストとして多分野で活躍する山川冬樹と、ダンサー・振付家として幅広い活動を展開する伊藤キムが、初のコラボレーション。現在開催中の「鉄道芸術祭／西野トラベラーズ」（アートエリアB1主催）とのコラボイベント。



01

02

03

04

06

07

A-1

「水都大阪フェス2011」会場での展示
10月22日▶10月30日　※展示は終了しました

水辺の楽しみを分かち合い、まちの魅力づくりにチャレンジすることを目的に開催された「水都大阪フェス2011」。メイン会場の中之島公園でおおさかカンヴァス第1弾展示をおこない、アートの魅力を発信しました。

01展示

「テレ金」 金魚部
▶展示会場：中之島公園（水都大阪フェス2011会場）

公衆電話ボックスを巨大な水槽に改造し、無数の金魚を遊泳させる作品。優雅に泳ぐ金魚の美しい姿を愛でた古くからの日本人の美意識を改めて体感することで、金魚すくいや餌用として大量に生産・消費される金魚の在り方を見直し、金魚を新たな日本の文化として開花させることを目指す。

02展示

「銀河鉄道たちばな」 橘 宣行
▶展示会場：中之島公園（水都大阪フェス2011会場）

機関車をモチーフにした鋼鉄製のオブジェ。作者が子供の頃に見たアニメに影響を受け、具現化した。ハンドルを回転させるとヘッドライトが点灯するなど、実際に乗って触って遊べる作品。「けったいなもん」が生まれる大阪を象徴した、と作者は語る。

03展示

「OSAKA BOARD GAME PARK」
関西大学都市設計研究室＋TOFU＋玉井悠嗣
▶展示会場：中之島公園（水都大阪フェス2011会場）

公園内のベンチや地面をゲームボードに模したチェック柄に設え、周囲に様々な使い方のできるゲーム盤を配置、オセロや将棋などの駒やピクニックシートを貸し出す。ベンチや芝生だけではない魅力が加わった公園で、従来とは違う公共空間の新しい楽しみ方を提案する。

04イベント

「ピクノポリス大阪」 東京ピクニッククラブ
▶展示会場：中之島公園（水都大阪フェス2011会場）

移動型の芝生を中之島周辺に出張させ、ピクニックを楽しんだり、ピクニック・コンテストを開催するなど、社交としてのピクニックの多様な楽しみ方を提案することによって、都市における人と人、人と都市の交流を活性化するプロジェクト。

06展示＋ワークショップ

「等身大の自画像プロジェクト」
アトリエズガ ワークショップ部門
▶展示会場：中之島公園（水都大阪フェス2011会場）

鏡を見ながら等身大の自画像を画仙紙に描くワークショップ。鏡の中の自分を見つめ、太い筆と墨で描くというなれない行為を通して、非日常の時間のなかで忘れていた感覚を取り戻そうというもの。

07パフォーマンス

「アジアン・アーツ・クロッシング・プロジェクト」
船場アートカフェ
▶展示会場：中之島公園（水都大阪フェス2011会場）他

水都大阪フェス2011会場や御堂筋界隈、北浜テラスの店舗等にてタイやモンゴルなどアジア音楽のミニライブを開催。公開空地など、ただ通りすぎるだけの都市のオープンスペースを、日常的に人々が賑わい、新しい魅力溢れる都市空間として活用・定着させることを目指す。大阪市立大学が中心となり、官・民・学共同で推進する。

43展示

「おおさかDNA」 西野 達
▶展示会場：大阪城青屋門前広場

水都を象徴する船、大阪が創業地である企業の家電製品、車、カップラーメンに豊臣秀吉など、大阪の歴史を創ってきたモノや人物を大型クレーンで吊るダイナミックなインスタレーション作品。〔平成22年度実施延期作品〕

A-1【協賛作品】展示

「中之島発電所」 スナックその
▶展示会場：中之島公園（水都大阪フェス2011会場）

人が電気を使用する以前の生活を振り返ってもらうため、古代の竪穴式住居でも人間が生きていく上では十分な家であることを感じ取ってもらうとともに、昔の人が生活に必要な火を自分で起こしていたように、作品の鑑賞者にアナログな方法で電気を発電してもらい、身体を通じて電気を作るという体験をしてもらいたい。

北摂エリア
※写真はイメージです

□□□□□□□□□

日本が大きく飛躍していく高度成長時代に、全国でも先駆けて大規模なニュータウンの開発が行われたエリア。50年前に描かれた未来をいかに受け継いでいくのか。

11展示＋ワークショップ

「AIR SPIRIT ～気流魂（キリュウダマ）」
R+気流部
▶展示会場：服部緑地 他
▶展示期間：展示：11月23日【水】～1月29日【日】
10:00～17:00（12月26日【月】～1月6日【金】休）
ワークショップ：
11月26日【土】・27日【日】服部緑地
12月3日【土】大泉緑地／12月4日【日】浜寺公園
12月17日【土】久宝寺緑地／1月7日【土】住吉公園

公園に集う人々とともに、直径3.5mのバルーン「気流魂（キリュウダマ）」の中にその場の空気を取り込み、膨らませ、弾ませ、転がすことで、場の空気を遊ぶというワークショップを展開する。服部緑地をはじめ、大阪府内の緑地・公園を巡りながら、新たな都市公園の使いこなし方を模索するプロジェクト。

12展示＋イベント

「Out of the Mercy」 足立 喜一朗
▶展示会場：服部緑地 西中央広場
▶展示期間：11月23日【水】～1月29日【日】
10:00～17:00（12月26日【月】～1月6日【金】休）

全身に植物をまとった巨大な芋虫型ロボットが、公園を徘徊、週末を中心にパフォーマンス。飼いならされた擬似生命体に対し、子供たち、そして大人たちは歓迎するのか、嫌悪するのか?人工的に作られた公園の中をうごめく人工生命体に、作者は近未来的なイメージを重ねている。人と自然との関係について問いかける作品。

13展示

「簾想 —簾の中で巡る想い—」 namĭ i7
▶展示会場：服部緑地 ちかくの森
▶展示期間：11月23日【水】～12月4日【日】

簾（すだれ）をねじって立体的に展示し、流線形の美を表現する作品。簾のねじりやゆらぎはそこに吹く風を可視化させ、簾を通して落ちる光の影とあわせて幻想的な風景をつくりだす。連続した簾が生み出す空間内には自由に入り込むことができ、公園に集う人々の憩いの場としても機能する。

31展示

「"空間収集"の空間 —大阪、日本—」
佐藤 隼
▶展示会場：箕面公園昆虫館
▶展示期間：11月23日【水】～12月25日【日】
10:00～17:00（入場16:30まで／火曜休館）
▶作品をご鑑賞いただくには箕面公園昆虫館の入館料が必要です。料金）大人：270円／中学生以下無料

昆虫の死骸を何千頭も収集することによって、身近な死について考えてきた作者。様々な価値観が見直されている今、そのはかなく綺麗な姿を通し、生と死について改めて考え、生き物の多様性についても共に考えていく機会にしたいと希望している。

A-2【協賛作品】展示

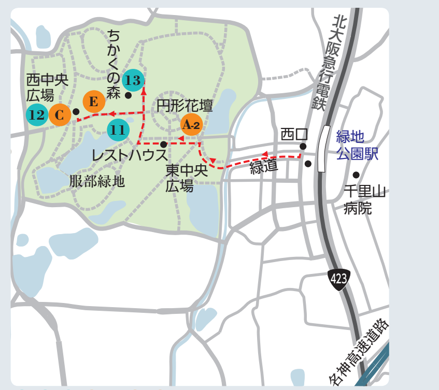
「服部緑地発電所」 スナックその
▶展示会場：服部緑地
▶展示期間：11月25日【金】～29日【火】
10:00～17:00

人が電気を使用する以前の生活を振り返ってもらうため、古代の竪穴式住居でも人間が生きていく上では十分な家であることを感じ取ってもらうとともに、昔の人が生活に必要な火を自分で起こしていたように、作品の鑑賞者にアナログな方法で電気を発電してもらい、身体を通じて電気を作るという体験をしてもらいたい。

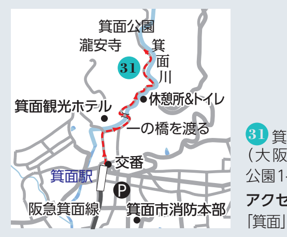
C【協賛作品】イベント

「フキだし project in 大阪」 松村 忠寿
▶展示会場：服部緑地
▶展示期間：11月26日【土】・27日【日】
11:00～16:00

言葉をフキだし形のバルーンでビジュアル化するプロジェクト。バルーンの裏面には大阪府の方言やTwitterのつぶやきが、表面には参加者のリアルタイムの言葉が入る。バルーンを参加者自身が携え、大阪の今を表現する。人、環境、言葉があって初めて一つの作品となる。フキだしを介して人と言葉の関係を考えてもらうことで、いまここにしかない「景色」が生まれることを目指す。



⑪⑫⑬Ⓐ-2ⒸⒺ服部緑地（豊中市服部緑地1-1）
アクセス：北大阪急行（地下鉄御堂筋線直結）「緑地公園」駅西口より下車すぐ



㉛箕面公園昆虫館（大阪府箕面市箕面公園1-18）
アクセス：阪急箕面線「箕面」駅より徒歩15分

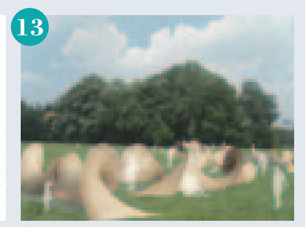
E【協賛作品】展示＋ワークショップ

「お皿プロジェクトin服部緑地」
加藤可奈衛・本多紀朗
▶展示会場：服部緑地
▶展示期間：11月27日【日】～（予定）
10:00～17:00

二人の彫刻家による緑地の森を活かした作品展示。森に配置された大きなお皿の上に、黄金色の「さなぎ」になったようにみえる人間がたたずむ。お皿には天地への祈りが込められている。木の葉を風にそよがせ、樹木たちが無言で静かに立ち、神秘に満ちた森の空間に迷いこんでもらいたい。そして天を見上げれば降りそそぐ、まばゆい木洩れ日を体感してもらいたい、と作者は語る。

11

12

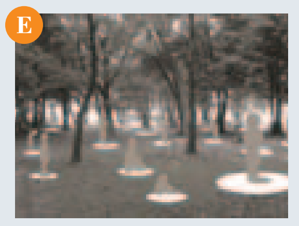


13

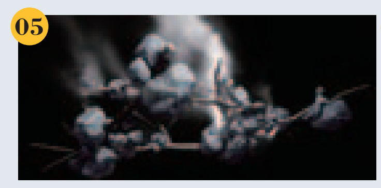
31

A-2

C

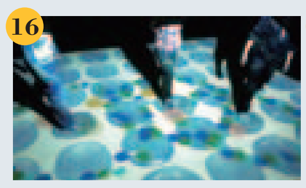


E

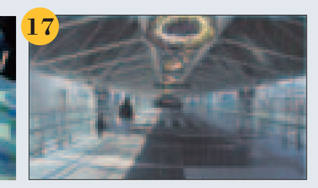


05

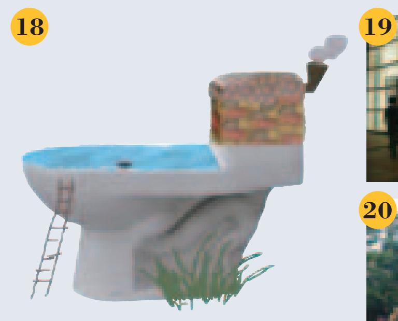
15



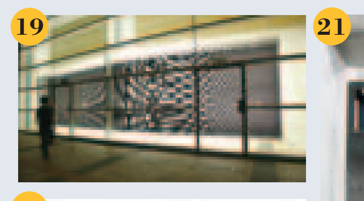
16



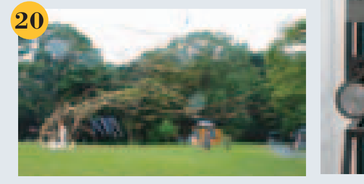
17



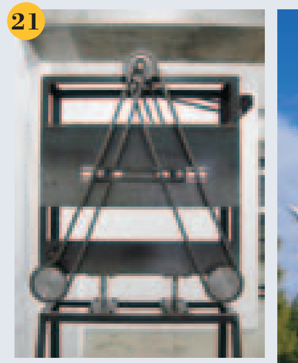
18



19



20



21

咲洲エリア
※写真はイメージです

□□ □ □□□ □□ □

「日本の夕日百選」に選ばれた展望台を有する大阪のベイエリア。全国でも有数の経済規模を誇る近畿圏の物流拠点となっている。

05展示

「umbra」 矢津吉隆×大喜多智裕
▶展示会場：大阪府咲洲庁舎（旧WTC）1階
▶展示期間：11月23日【水】～1月29日【日】
10:00～21:00

岩や木の枝、煙といった人間が持つ太古の記憶を揺さぶるようなモチーフを使い、最新の3D立体映像で空間を構成する。立体映像のイメージと物質とが混在する空間は、虚実の境界を揺さぶり、新たなリアリティをもたらす。映像の新しい表現に挑戦する作品。（第1弾から順延した作品）

15展示

「ワール・ド・タワー」 高橋 喜代史
▶展示会場：大阪府咲洲庁舎（旧WTC）1階フェスパ
▶展示期間：11月23日【水】～1月29日【日】
10:00～21:00

高さ約4mのカタカナの「ド」の字の塔。「ド迫力」「ド真ん中」「ドえらい」「ドでかい」など、「ド」という単語が持つボリューム感や勢いと、世間に流布する大阪のイメージを重ね合わせた作品。

16展示

「巨大∞プチプチ」
大平 剛＆大阪電気通信大学高見研究室
▶展示会場：大阪市立海洋博物館 なにわの海の時空館
▶展示期間：11月23日【水】～1月29日【日】10:00～17:00
（入場16:30まで／月曜休館／12月26日【月】～1月1日【日】休）
▶作品をご覧いただくには、なにわの海の時空館の入館料が必要です。料金）高校生以上:600円／中学生以下:無料
※11月26日【土】・27日【日】は関西文化の日のため入館無料。

梱包材の「プチプチ（気泡緩衝シート）」を映像で床に投影し、その上を歩くとプチ、プチとまるで踏み潰しているような音が聞こえる体感型作品。ハイテクであり、ユーモアも兼ね備えた作品となっている。

17展示

「ぬえのしっぽ」 山本 麻世
▶展示会場：大阪府咲洲庁舎（旧WTC）連絡通路
▶展示期間：11月23日【水】～1月29日【日】

平安時代、夜な夜な出没して人々を恐れさせたという怪物「ぬえ」をモチーフとした作品。工事現場等で使われるビニールテープを編み込み、「ぬえ」の尻尾を表現。伝説によると、退治されたぬえは大阪に漂着したとされ、都島区には鵺塚も現存している。

18展示

「Bench=Benki」
Sakishima High School Art Mania
▶展示会場：ATC（アジア太平洋トレードセンター）オズ岸壁
▶展示期間：11月23日【水】～1月29日【日】

咲洲コスモスクエア地区に忽然と現れる色とりどりの洋式便器。美術を愛する高校生たちの、ベンチ→ベンキというダジャレ的発想が作品のアイデアとなっている。多くの人に美しい咲洲の景色をゆっくりと楽しんでもらいたいとの願いが込められている。

19展示

「Drops of Light」 oxoxo【ゼロバイゼロ】
▶展示会場：大阪府咲洲庁舎（旧WTC）2階通路
▶展示期間：11月23日【水】～1月29日【日】
10:00～21:00

小さな穴のあいたシートを二枚重ねる事によってできるモワレ模様（干渉縞）。作品との距離や角度によって模様の見え方が変化し、無機質にも感じられる近未来的な建築空間に動きのある細やかな光があふれる。

20展示

「飛龍」 三橋 玄
▶展示会場：ATC（アジア太平洋トレードセンター）
ITM棟2階ハーバーアトリウム
▶展示期間：11月23日【水】～1月29日【日】
10:00～21:00
11月23日【水】～公開制作

人間と自然の関わり方を作品テーマとして活動するアーティストが、今回は千早赤阪村の竹を利用して制作。割竹のしなやかな線で透明感や躍動感溢れる龍の姿を表現する。放置竹林問題や、失われつつある加工技術の保存にも目を向け、竹を巡る文化と自然の豊かさを見直すことも意図されている。

21展示

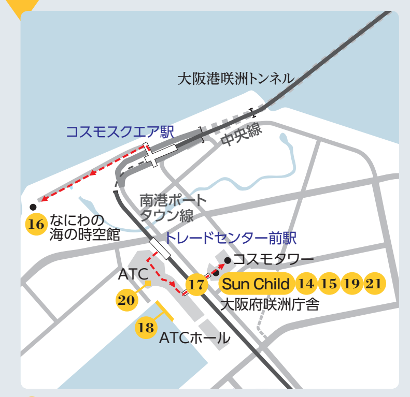
「大阪マシーン」 タムラサトル
▶展示会場：大阪府咲洲庁舎（旧WTC）
2階エレベーターホール
▶展示期間：11月23日【水】～1月29日【日】
10:00～21:00

チェーンと歯車で動く「大」「阪」。大阪人が大阪に対して持つプライドや愛情、町工場が支える『ものづくりの大阪』への敬意など、アーティスト自身が考える大阪像が作品となって現れる。

特別展示

「Sun Child」 ヤノベケンジ
▶展示会場：大阪府咲洲庁舎（旧WTC）1階フェスパ
▶展示期間：11月23日【水】～12月4日【日】
10:00～21:00

「ヤノベケンジと一緒にカンヴァス作品を巡るツアー」
Sun Childを特別展示中のヤノベケンジ自らが、咲洲エリアの作品を解説しながら巡るアート・ツアーを開催します。
日時：11月27日【日】13:00～
集合：Sun Child作品前



⑯大阪市立海洋博物館 なにわの海の時空館（大阪市住之江区南港北2-5-20）
アクセス：地下鉄中央線「コスモスクエア」駅1番出口より徒歩5分
⑱⑳ATC（大阪市住之江区南港北2-1-10）
アクセス：ニュートラム「トレードセンター前」2番出口より徒歩1分
Sun Child ⑭⑮⑰⑲㉑大阪府咲洲庁舎(旧WTC)（大阪市住之江区南港北1-14-16）
アクセス：ニュートラム「トレードセンター前」駅2番出口より徒歩5分

イベントスケジュール

11月 23 24 25 26 27 28 29 30 ／ 12月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 ／ 1月 …7…21 22…28 29

区分	作品	日程
ワークショップ	⑪AIR SPIRIT ～気流魂	11/26 12:00-13:30 11/27 11:30-14:00 12/3・4 13:00-16:00 12/17 13:00-17:00 1/7 13:00-17:00
	㉖NAMURA 152P	11/23 12/10・11 1/21・22・28・29
	㉓ミライカメラ	11/23 10:00/14:00 11/27
	ⒷCO₂メガネ	11/23 11/26 12/3 12/10 19:00-21:00
	Ⓒフキだし project in 大阪	11/26・27
イベント	⑫Out of the Mercy	12/3・4 12/10・11 12/17・18 12/23・24・25
	⑨CONE AND THE CITY PROJECT	12/1 12/5 12/17
	㊱「私のバスはどこですか?」	12/10 12/18 12/23・25
	㉗床書キ原寸	12/3 14:00- 12/17 15:00-
	㊲突撃熊五郎一家 胸ドキ放送局	11/23他
パフォーマンス	⑩山川冬樹と伊藤キムが合体して「山川キム」になりました。ライブパフォーマンス	12/10 19:30-（予定）
	⑭THE CLOUD TANK PROJECT	11/23 11/26・27

関連展示

鉄道芸術祭vol.1「西野トラベラーズ—行き先はどこだ?」
▶展示会場：京阪なにわ駅アートエリアB1、中之島バンクスCENTER-A、Antenna Media、他
▶展示期間：10月22日【土】～12月25日【日】
12:00～19:00（月曜休館）
▶詳細 http://artarea-b1.jp/event/tetsugei01/

OSOTOピクニックパフォーマンス「"公園を突き抜ける"」
▶集合場所：服部緑地西中央広場
▶開催日：11月26日【土】
12:00～13:30
▶詳細 http://takeme.osoto.jp/festival02.html

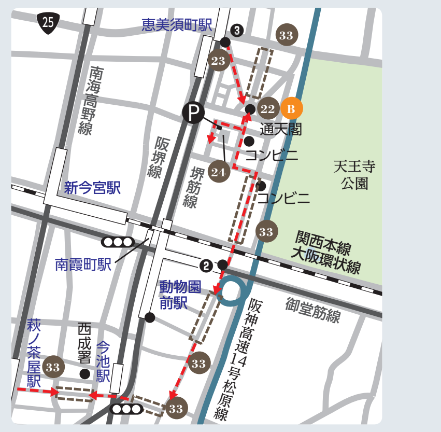
「ヤノベケンジ作品展」
▶展示会場：大阪市立海洋博物館 なにわの海の時空館 展示棟4F
▶展示期間：11月15日【火】～12月4日【日】
10:00～17:00（月曜休館）
▶詳細 http://www.jikukan-ogbc.jp/event/111115.html

新世界エリア
※写真はイメージです

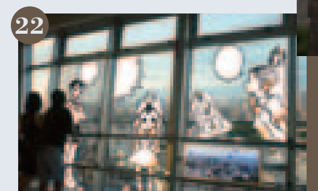
□□ □□ □□□□ □ □

文明開化の時代から庶民が遊んだ通天閣を中心に、多くの商店街や動物園、劇場、労働者たちの寄り場などが集まり、多彩な顔を持つエリア。昭和の匂いが残る街は、今も様々な都市生活者をひきつけてやまない。

23

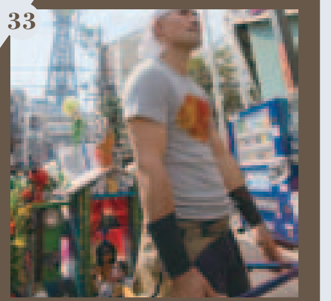


㉒Ⓑ通天閣（大阪市浪速区恵美須東1-18-6）
アクセス：地下鉄堺筋線「恵美須町」駅3番出口より徒歩3分・地下鉄御堂筋・堺筋線「動物園前」駅2番出口より徒歩10分
㉔新世界ゲートボール場（大阪市浪速区恵美須東1丁目）
アクセス：地下鉄堺筋線「恵美須町」駅3番出口より徒歩5分
㉝ジャンジャン横丁（大阪市浪速区恵美須東3丁目東部）他
アクセス：地下鉄御堂筋・堺筋線「動物園前」駅2番出口より徒歩5分・地下鉄堺筋線「恵美須町」駅3番出口より徒歩10分・南海高野線「萩ノ茶屋」駅より徒歩5分

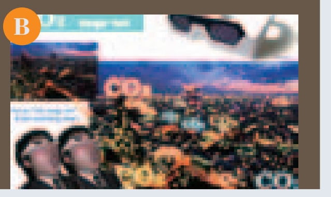


22

24



33



B

22展示

「ビリケン物語～太郎とマリケン純情篇～」
京都精華大学 TMゼミ
▶展示会場：通天閣
▶展示期間：11月23日【水】～12月25日【日】（予定）
10:00～21:00（入場20:30まで）
▶作品をご鑑賞いただくには通天閣の入館料が必要です。料金）大人：600円／学生料金あり

通天閣展望台の窓一面に、ビリケンが主人公の冒険コメディ・マンガを展開。くいだおれ太郎やバファローブルなども登場、背景の実風景ともコラボレーションさせる「現代の屏風絵」を目指す。著名なマンガ編集者に率いられた学生や卒業生たちが、マンガ表現の新たな可能性に挑む。

23展示＋ワークショップ

「ミライカメラ」 ミライカメラ
▶展示会場：新世界市場 他
▶展示期間：11月23日【水】～12月4日【日】10:00～17:00
ワークショップ：11月23日【水】・27日【日】
①10:00～②14:00～

透明の板がはめ込まれた写真フレームを通して見える街の景色に、参加者が未来の街を想像して絵を重ねていくワークショップ。フレームの向こうの景色と合わさってどのような作品が生まれるか、そこには十人十色の未来が描かれる。来年、100周年を迎える通天閣をめぐって、みんなでさらに100年後を思い描き、共有しようというプロジェクト。

24展示

「パレットトラベル」 ツムテンカク実行委員会
▶展示会場：新世界ゲートボール場
▶展示期間：11月23日【水】～12月4日【日】10:00～17:00

輸送用のパレットを組み合わせ、巨大迷路を作る作品。通天閣建設から100周年を迎える新世界エリアをこれまでどれくらいの人が行き交ってきただろう。観光客や地元の子供たちなど、様々な人を迷路にいざない、多様な交流を生み出すことによって、地域のさらなる発展を応援しようと取り組む。

33展示

「カンシカメラメカシ（仮題）」 飯島 浩二
▶展示会場：萩之茶屋本通商店街、動物園前一番街、今池本通商店会、ジャンジャン横丁、春日通商店会
▶展示期間：11月1日【火】～1月15日【日】
記録映像の展示：大阪府咲洲庁舎（旧WTC）
11月23日【水】～1月15日【日】10:00～21:00

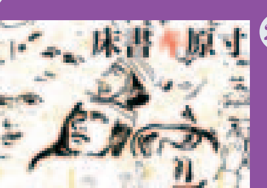
街中の商店街などに設置されている防犯カメラを、タペストリーや玩具、造花などで装飾する。犯罪の抑止効果があるとされる一方、プライバシーの侵害も指摘される防犯カメラ。都市空間において、パブリック（公共）とは何か?個人の自由の範囲とは?について問題提起を試みる。

B【協賛作品】ワークショップ

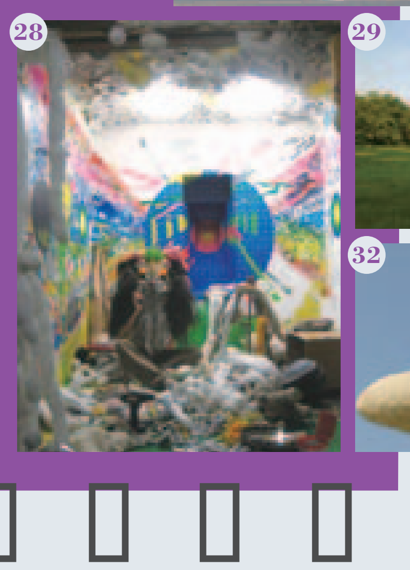
「CO₂メガネ」 宮崎 宏康
▶展示会場：通天閣
▶展示期間：ワークショップ：11月23日【水】・26日【土】・12月3日【土】・10日【土】
19:00～21:00（入場20:30まで）
▶作品をご鑑賞いただくには通天閣の入館料が必要です。料金）大人：600円／学生料金あり

灯りが「CO_2」の文字に変わって見える"CO_2メガネ"をとおして大阪の街中を眺めてもらうプロジェクト。通天閣のデッキに設置された有料双眼鏡を使い、拡大された景色の中に浮かび上がる大量のCO_2が確認できる"CO_2 tele-scope"(双眼鏡設置型)もあわせて設置。大阪の街が「CO_2」に埋め尽くされた景色を目の当たりにすることで、本当に大切なものを再認識してほしいという作者の願いがこめられている。

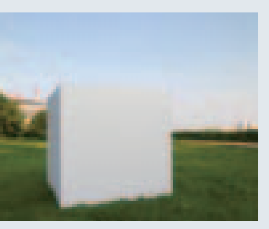
26



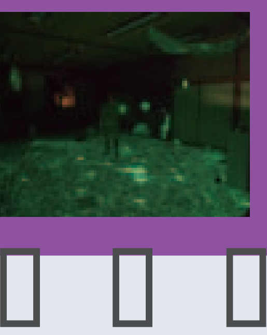
27



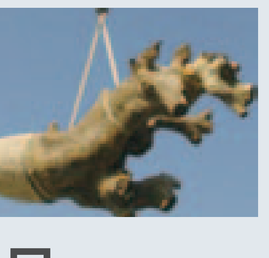
28



29



30



32

北加賀屋エリア
※写真はイメージです

□ □□ □ □ □ □ □ □ □

近代化にともない沿岸部に発達した工業地帯。林立する煙突から流れる煙は進歩の味と謳われた過去の栄光を糧に、文化的発信地としての未来を地域ぐるみで描く。

26ワークショップ

「NAMURA 152P」 NPO法人Co.to.hana
▶展示会場：木津川防潮堤（名村造船所跡地前）
▶展示期間：2月上旬完成予定
ワークショップ：11月23日【水】・12月10日【土】・11日【日】・1月21日【土】・22日【日】・28日【土】・29日【日】・2月4日【土】

近代化産業遺産に指定された造船所跡地に隣接する防潮堤に、地域の人々と一緒にパズルピースのようにつながったウォールペインティングを描くプロジェクト。地域の歴史性や防災の視点も取りこみながら、まちと人の思いをパズルのようにアートでつないでいくことを目指す。近代化産業遺産を未来に活かす地域活性化実行委員会との共同プロジェクト。

27展示

「床書キ原寸」 後藤 靖香
▶展示会場：名村造船所跡地 クリエイティブセンター大阪4階（製図室）
▶展示期間：11月23日【水】～12月23日【金】
10:00～19:00（入場18:30まで）

今も実寸大の橋の設計図が床に書きこまれたまま残されている巨大な空間に、当時そこで働いていた人々をテーマにした平面作品の新作を展示。日々の葛藤を抱えながらも、誠実に労働する人の中に愛おしさと深い尊敬の念を抱く作者が、大阪の歴史と、それを築いてきた人々の魅力を再発見しようと取り組む。※トークイベントあり

28公開生活

「セルフ屋敷」 コタケマン
▶展示会場：住之江区北島3-1-5 元やおやさん
▶展示期間：11月23日【水】～12月25日【日】
10:00～19:00（入場18:30まで・月曜休）

作者はこれまで、生まれ育った実家を5年間かけて不思議なオブジェや装飾物で溢れかえる不思議な空間へと改装してきた。今回はその総仕上げを行い、初めて一般公開するとともに、交流を持つ様々な分野のクリエーターたちによるパフォーマンスを繰り広げ、大阪ならではの魅力を発信しようと試みる。

29展示

「空の器（そらのうつわ からのうつわ）」 5020
▶展示会場：北加賀屋5丁目2 空き地
▶展示期間：11月23日【水】～1月29日【日】
10:00～17:00（12月29日【木】～1月3日【火】休）

長屋が建ち並ぶ界隈の中にある空き地の中に、人が入ることの出来る器のような空間が出現する。中に入ると四方から外光が入り込み、からの容器をイメージした空間から空を見上げることが出来る。その頭上に広がる空がどこまでも繋がり、風景の異なる遠い街でおこっている出来事について、感じ考えるような場をつくりだす。

30展示

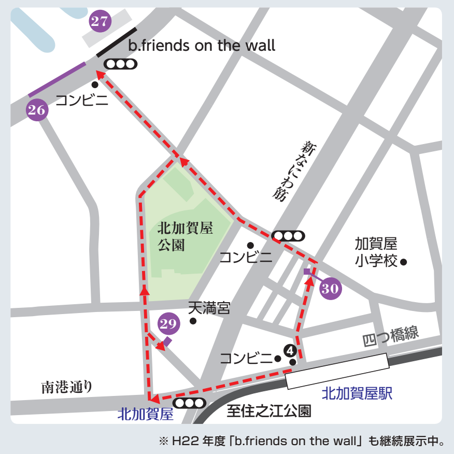
「明るい／暗い 家 —大阪—」 佐藤 隼
▶展示会場：北加賀屋の住宅 住之江区北加賀屋2-8-3
▶展示期間：11月23日【水】～12月25日【日】
10:00～19:00（入場18：30まで）

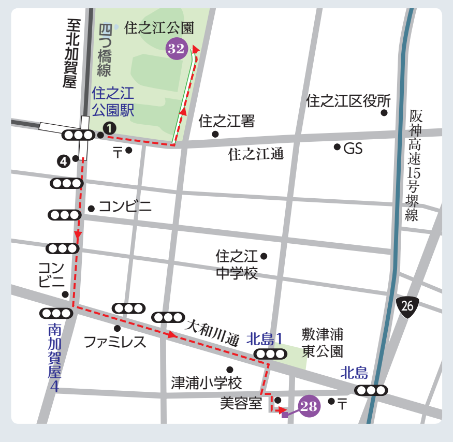
北加賀屋にある住宅1軒を使い、蓄光塗料で塗装し、電気がなくとも発光する空間を創り上げることによって、私たちの課題となった電力の問題について、美術の力で問うことを提案する。期間中は地域住民や来場者とかかわりを持ち、共に考えを深める機会をもつ。

32展示

「きのむかうところ」 伊原 セイチ
▶展示会場：住之江公園
▶展示期間：12月中旬完成予定
11月23日【水】～公開制作

公園にある高さ10mを超すポプラの巨木が危険木として切り倒されることを知った作者が、巨木を作品としてよみがえらせ、新たな生を見出そうという作品。長い年月を経てきた樹の生命力に勇気を与えられ、生きる方向を示されたと感じる作者は、根から丁寧に掘り起こして横たえることで樹の命を鎮め、公園を訪れる人々の癒しの場になることを望んでいる。





※H22年度「b.friends on the wall」も継続展示中。

㉚北加賀屋の住宅（大阪市住之江区北加賀屋2-8-3）**アクセス**：地下鉄四つ橋線「北加賀屋」駅4番出口より徒歩3分
㉙北加賀屋5丁目2空き地（大阪市住之江区北加賀屋5丁目）
アクセス：地下鉄四つ橋線「北加賀屋」駅4番出口より徒歩5分
㉖㉗クリエイティブセンター大阪（大阪市住之江区北加賀屋4-1-55 名村造船跡地）
アクセス：地下鉄四つ橋線「北加賀屋」駅4番出口より徒歩10分
㉜住之江公園（大阪市住之江区南加賀屋1-1-117）
アクセス：地下鉄四つ橋線「住之江公園」駅1番出口より徒歩5分
㉘住之江区北島（大阪市住之江区北島3-1-5）
アクセス：地下鉄四つ橋線「住之江公園」駅4番出口より徒歩15分

石切エリア

□□ □ □□ □□ □

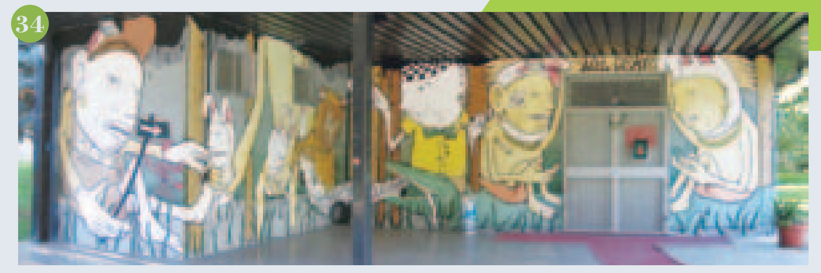
「デンボ（出来物）の神様」として親しまれる石切劔箭神社を中心に栄えるエリア。通称ダラダラ坂と呼ばれる参道商店街も賑わう静かに熱い信仰と生活の街。

34展示

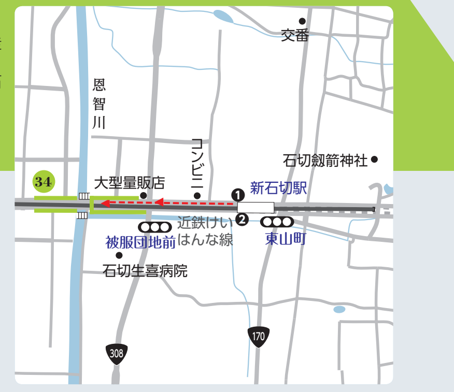
「エネルギー」 MOT8 Design Studio
▶展示会場：石切エリア ▶展示期間：12月中旬完成予定 11月上旬～公開制作

いたずら書きが多く発生する道路よう壁や地下道にカラフルでコミカルなウォールペインティングを描き、明るい気持ちになる空間、子供たちが希望を抱ける空間へと変容させる。長らくイタリア等を中心にストリート・アートで活躍してきた作者は、今度は日本で、人は皆ひとりじゃないというメッセージを伝えたいと意気込む。

㉞石切エリア国道よう壁・側道水走橋（東大阪市西石切町7-4水走橋）
アクセス：近鉄けいはんな線「新石切」駅1番・2番出口より徒歩8分



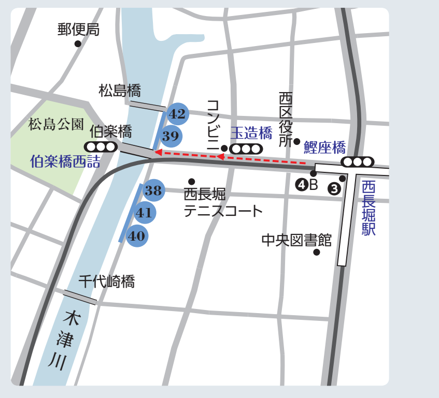
34



木津川ウォールペイント
※写真はイメージです

□ □□ □ □ □ □ □
□ □ □ □ □ □ □□ □

元禄の時代に掘削されて以来、軍事的・商業的に重宝されてきた運河。現在でも歩行者専用の渡船が営まれており、産業と生活とが密着した水都大阪らしい河川の一つである。



㊳㊴㊵㊶㊷木津川防潮堤 千代崎橋～伯楽橋
アクセス：地下鉄長堀鶴見緑地線「西長堀」駅4B出口より徒歩10分・地下鉄千日前線「西長堀」駅4番出口より徒歩5分

38展示

「水の旅人」 石田 真吾
▶展示期間：12月中旬完成予定

過去と未来の街並みが混在する「水の都・大阪」の街を、ゆったりと心ゆくまで堪能する「船旅」を表現。

39展示

「おいしい街（おおさか）」
Sakishima High School Art Mania
▶展示期間：12月中旬完成予定

にぎやかで明るい人がいっぱいの大阪は、たくさん出会いがあり、誰もが楽しめる町。そして何よりも誇れるのが、おいしい食べ物。そんな素敵な大阪を表現。

40展示

「五色雲に散蓮」 袖岡 千佳
▶展示期間：12月中旬完成予定

水から生まれる雲をモチーフに、伝統的な雲の図像を水辺に描くことによって、先人たちが思い描いた極楽浄土のような場を生み出し、現代を生きる私たちに安らぎを与えるものとなることを希望している。

41展示

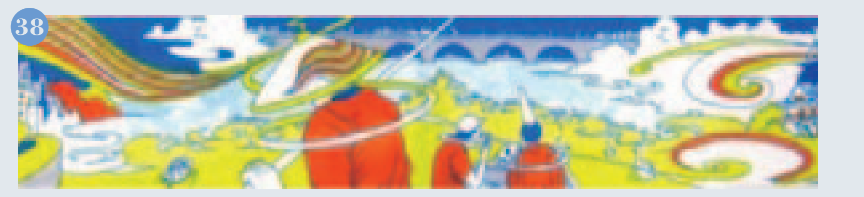
「川で川を描く大阪の自画像」 蓮沼 昌宏
▶展示期間：12月中旬完成予定

過去にあった大阪に流れる数多くの水路は思い出すのも困難になった現在。もうなくなった水路とこれからやってくる水路の気配を追いかけて、壁に鏡を出現させるように未来の水路を描く。

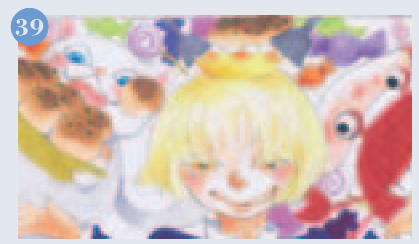
42展示

「四神」 菩須彦団
▶展示期間：12月中旬完成予定

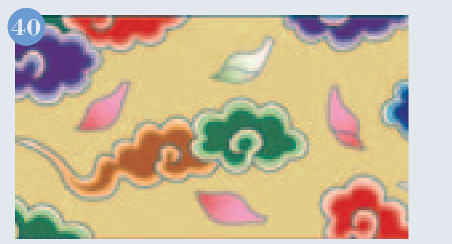
国土の四方位を守る神であり、また、季節神の象徴としても存在する四神をテーマに、見えざる神々に護られた河川を表現する。



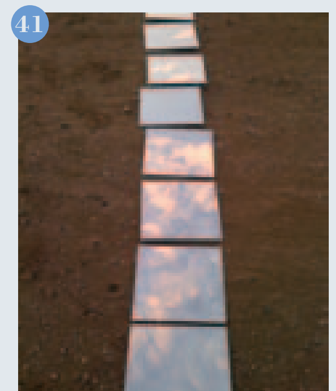
38



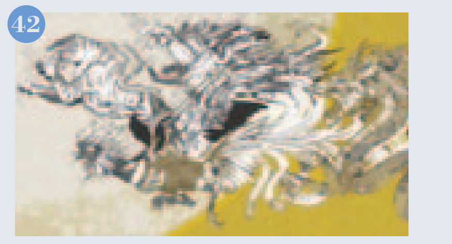
39



40

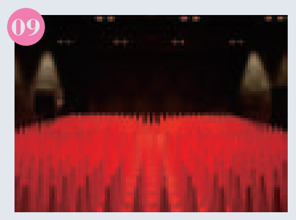


41

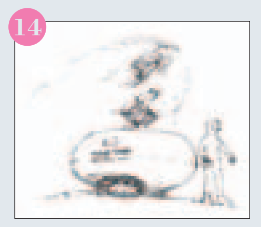


42

25

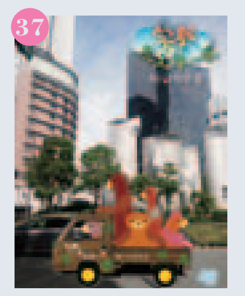


09



14

36



37

35

D

アメリカ村／その他のエリア
※写真はイメージです

09イベント

「CONE AND THE CITY PROJECT」
CONE AND THE CITY PROJECT
▶展示会場＆期間：
12月 1日【木】靭テニスセンター
12月 5日【月】国立国際美術館
12月17日【土】大阪府庁 他（詳細はWEBへ）

大阪を代表する様々な公共空間を、約三千個の赤い工事用コーンで埋め尽くすプロジェクト。見慣れた街の風景が赤いコーンで異化されることによって、個人が都市のランドスケープについて改めて考える契機にもなることを願う。

14展示＋パフォーマンス

「THE CLOUD TANK PROJECT」
S.R.L（Survival Revival Laboratory）
▶展示会場：大阪府咲洲庁舎（旧WTC）屋外広場（大阪市住之江区南港北1-14-16）
▶展示期間：11月23日【水】～12月4日【日】
パフォーマンス：11月23日【水】・26日【土】・27日【日】

放射能汚染から人々を守る「良き雲」を製造する装置CLOUD TANKが日本中を旅するプロジェクト。世界初の原子爆弾の形をモチーフにするなど、核に対する批評的意味も込められており、際限のない人間の欲望と戦う戦車（タンク）として発想されている。

25展示

「怒れる巨大オヤジ」
株式会社人間
▶展示会場：御津公園（アメリカ村 三角公園）（大阪市中央区西心斎橋2丁目）
▶展示期間：11月26日【土】・27日【日】
10:00～21:00

地面を突き破って突如出現した巨大な禿頭。その正体は、つい誰もが怒ってしまうストレスいっぱいの現代にあって、みんなの「怒り」を吸収してくれる「怒りの救世主」。ツイッターを通して彼に相談すれば、情熱的なオヤジが代わりに怒ってくれる。双方向型の作品で、あなたの怒りを爆発させよう。

36イベント

「『私のバスはどこですか?』」
TOMIMOTRAVEL
▶展示会場＆期間：
水上ツアー：12月10日【土】
集合：中之島周辺（詳細はWEBへ）
バスツアー：12月18日【日】・23日【金】・25日【日】
集合：大阪駅西側「梅田2」の交差点付近

「観光バスを見失った」という設定のバスガイドに扮した作者が、カンヴァスの作品展示場所や、大阪の魅力ある場所を次々と訪れ、多くの人を巻き込みながらつないでいく。

37イベント

「突撃熊五郎一家 胸ドキ放送局」
大西 治・大西 雅子
▶展示会場：府内各所を移動
▶展示期間：11月23日【水】他（詳細はWEBへ）

里山から街におりてきた熊五郎一家がトラックに乗って府内各地を巡る。時々止まっては、各地で記念撮影。周囲の人も巻き込んで写真を撮ったり、その様子をインターネットで中継したり。人の笑顔をテーマに、出会いを求めて旅するプロジェクト。
http://www.ustream.tv/channel/
（熊五郎一家で検索）

35非公開展示

「霧はれて光きたる春」
ハナムラ チカヒロ
▶展示会場：大阪府内の病院
▶展示期間：一般非公開で実施

不安な気持ちで何週間も病棟の中で過ごさねばならない入院患者に向け、一瞬でも病を忘れる事のできるような風景を、霧とシャボン玉で出現させるプロジェクト。圧倒的な現象に立ち会うことで、医師、看護士、患者といった関係性とは異なる、新しいコミュニケーションが生まれ、そこから何かが立ち上がることを願って開催される。

D【協賛作品】展示

「JUG JUG MANDARA YIN/ JUG JUG MANDARA YANG」
nisai/熊谷 信夫
▶展示会場：大阪府庁本館正面玄関（大阪市中央区大手前2丁目）
▶展示期間：11月24日【木】～12月22日【木】（閉庁日を除く）

ヒトが考えだした幾何学的フォルムと、自然な造形を表現した金網とを対比し、地球上の都会と自然を表現。九個の鏡面で作られた球形は曼荼羅の九つのエレメントを表現し、不自然な動きでこの世界の不条理な状況と時間軸をあらわす。想定外の動きのある作品から、驚きと不思議を体験してもらいたいと試みる。